

2025年  
5月

複数社協賛型デジタルイベント

開発・運用

# @IT 開発変革セミナー 2025 春

～クラウドネイティブ・生成AI時代にビジネス変革を後押しするIT部門の必須5要件～

(@IT Cloud Native Week × @IT 開発変革セミナー後継イベント)

開催日 : 2025年6月4日(水)～6月6日(金)

最終締切 : セッションプラン…2025年5月14日(水)

リストプラン …2025年5月30日(金)

運営 : アイティメディア株式会社

## @IT 開発変革セミナー 2025 春

クラウドネイティブ・生成AI時代にビジネス変革を後押しするIT部門の必須5要件

クラウドネイティブ・生成AIの時代におけるIT組織の事業貢献———  
価値創造のための攻めの取り組みと、品質・安全を実現する守りの取り組み  
における、「5つの必須要件」を取り上げ、デジタル変革の推進に役立つ情報  
をお届けする。

### 主催メディア



### 会期

2025年6月4日(水)~6月6日(金)

### 申込締切日

セッションプラン…2025年5月14日(水)  
リストプラン …2025年5月30日(金)

### 事前申込者数

約800名想定

### 想定視聴者属性

IT部門長、経営者、経営企画、社内情報システムの企画担  
当者、開発・方針策定者など

### 主な協賛プラン

プラチナプラン | 380万円  
ゴールドプラン | 280万円  
全リストプラン | 270万円 ※他プランあり

### 過去開催実績

@IT 開発変革セミナー 2024秋：[開催報告書](#)  
@IT Cloud Native Week 2024 夏 特別編集版：[開催報告書](#)  
※本イベントは、@IT開発変革セミナー、  
@IT Cloud Native Weekの後継イベントです。

## 1：AIアプリケーション開発

### 今こそ知りたい 「AIアプリケーション開発」のいろは 最新事例に学ぶ勘所

生成AIはビジネスをどう変革させるの  
か？ 生成AIを活用したAIアプリケー  
ションの最新事例とは？ AIアプリケー  
ション開発に取り組む上で知っておきた  
い、AIの価値を引き出すための前提条件。

## 3：品質管理とDevOps

### 限られたリソースで始める「攻めの品質 管理」・DevSecOps

スピード、変化対応力に加え、コスト削  
減を求められる現場が増えている中、限  
られたリソースでも社会や企業の発展に  
役立つ「攻めの品質管理」や  
DevSecOpsのポイントを説く。

## 5：クラウドネイティブを守るセキュリティ

### クラウドネイティブを守るセキュリティ

クラウドネイティブな環境で狙われるのはどこなのか？ クラウドネイティブ基盤を  
守るに当たってポイントは？ ビジネスを継続し、事業に貢献するために知っておき  
たいクラウドネイティブセキュリティの勘所。

## 2：クラウドネイティブの始め方

### 先行企業に学ぶ、クラウドネイティブの 始め方

システムの安定稼働が求められる中で、  
先行企業はクラウドネイティブをどう実  
践しているのか。

## 4：ローコード開発

### 正しいローコード

内製化の要となるローコード開発におけ  
る注意点と情シスの役割。





名称	@IT Cloud Native Week 2024夏 特別編集版 企業のクラウドネイティブ実践事例 ～先行企業に学ぶ、クラウドネイティブへの本音と勘所～	
開催日時	2024年9月11日（水）～9月13日（金） ※9月23日（月）までアーカイブ配信	
対象	開発部門で経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、Slerなど	
主催	@IT	
全申込者数	662人	
視聴者数	447人	
協賛 (※50音順)	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社アシュアード</li> <li>Apptio株式会社</li> <li>Gcore Japan株式会社</li> <li>株式会社JSOL</li> <li>J B C C 株式会社</li> <li>Tenable Network Security Japan 株式会社</li> <li>ジョーシス株式会社</li> <li>株式会社ディアスクエア</li> <li>デル・テクノロジーズ株式会社</li> <li>日鉄ソリューションズ株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本アイ・ビー・エム株式会社</li> <li>日本オラクル株式会社</li> <li>株式会社ネットワーク</li> <li>Veeam Software Japan株式会社</li> </ul>

## 基調講演

### 基調講演1

【北國フィナンシャルホールディングスのシステム戦略  
クラウドネイティブへの歩み  
～「勘定系システムのクラウド全面移行」の先～】

株式会社北國銀行  
システム部/執行役員システム部長  
新谷 敦志 氏

### 基調講演2-1

【インフラ観点で見るセキュリティ ～4Cモデルに倣って～】

株式会社kubell  
コミュニケーションプラットフォーム本部 SRE部  
古屋 啓介 氏

### 基調講演2-2

【実践DevSecOps ～クラウドネイティブとオンプレミスの間から～】

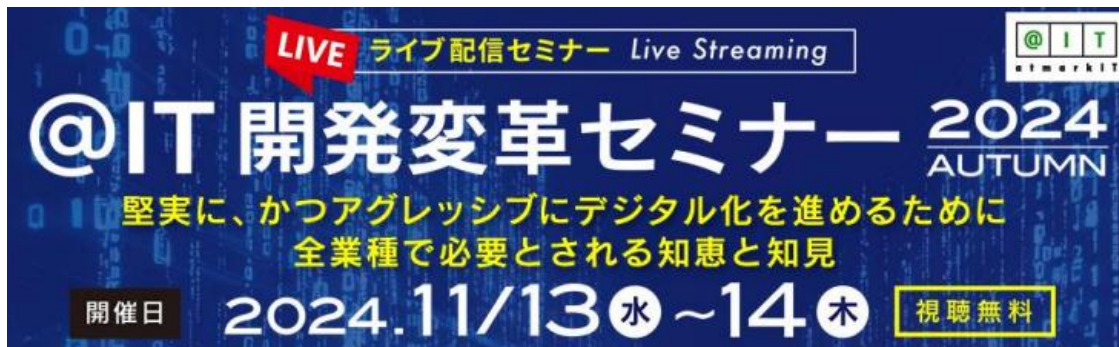
GMOペパボ株式会社  
技術部技術基盤チーム シニア・プリンシパル エンジニア  
山下 和彦 氏  
※講演内容は配信当時の情報となります。  
(配信日：2024年6月19日)

### 基調講演3

【SUBARU Labでの次世代アイサイト向け  
AI開発環境におけるクラウドネイティブ化の歩み】  
株式会社 S U B A R U  
SUBARU Lab副所長 兼 技術本部ADAS開発部 主査  
金井 崇 氏  
※講演内容は配信当時の情報となります。  
(配信日：2024年6月19日)

<https://members06.live.itmedia.co.jp/library/NzM4NzE%253D?group=CNW2024sSP>

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-10-18/2d1g312>



名称	@IT 開発変革セミナー 2024 秋 ～堅実に、かつアグレッシブにデジタル化を進めるために全業種で必要とされる知恵と知見～
開催日時	2024年11月13日（水）～11月14日（木） ※11月26日までアーカイブ配信
対象	IT部門長、経営者、経営企画、社内情報システムの企画担当者、開発・方針策定者など
主催	@IT
全申込者数	555人
視聴者数	406人
協賛 (※50音順)	シーメンス株式会社

## 基調講演

### 基調講演1

【ローコードツールと課題解決型学習で実現した地域の「観光DX」】

公立千歳科学技術大学  
情報システム工学科／特任教授  
曾我 聡起 氏

### 基調講演2-1

【高品質と高スピードの両立を支えるソフトウェアQA】

テスト自動化研究会  
井芹 洋輝 氏

### 基調講演2-2

【デンソーにおけるDevOpsの効果的な活用方法】

株式会社デンソー  
クラウドサービス開発部 プロジェクトマネージャー  
佐藤 義永 氏

申込みページ

<https://members10.live.itmedia.co.jp/library/NzY3MTg%253D?group=kaihatsu2024A>

開催報告書

<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-12-08/2d1ns91>

## 企画趣旨

あらゆるビジネスがデジタルによって変革されつつある今、デジタルサービスとしてのソフトウェア開発と運用は、あらゆる企業にとって重要な課題となった。すなわち、ビジネス部門を支え、ビジネス変革を推進するIT組織の重要性は増していると言えるだろう。2025年の崖が到来した今、デジタルサービスへの取り組みは、企業の存亡に関わる問題ではないだろうか。

このイベントは、変革に取り組むIT組織のチャレンジを広く発信し、これから変革を始めるIT組織にヒントを提供することを目的とするデジタルカンファレンスだ。様々な業界や業種を横断し、デジタルサービスを支える人々を支援すること、そしてクラウドネイティブ・生成AIの時代において、IT組織が事業に貢献し、最大限のパフォーマンスを発揮するための道しるべとなることを目指している。

具体的には、価値創造のための攻めの取り組みと、品質・安全を実現する守りの取り組みにおける、「5つの必須要件」を取り上げ、デジタル変革を推進する。

攻めの取り組みとしては、AIアプリケーションの開発、クラウドネイティブによるアーキテクチャの変革、業務部門との協働を促進するローコード開発の民主化に焦点を当てる。

また、守りの取り組みとしては、DevOpsと自動化による開発品質の向上と変革、プラットフォームを防衛するためのクラウドネイティブなセキュリティのあり方について取り上げる。

## 開催テーマ

セッション	1	AIアプリケーション開発
セッション	2	クラウドネイティブの始め方
セッション	3	品質管理とDevOps

セッション	4	ローコード開発
セッション	5	クラウドネイティブを守るセキュリティ

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

## 概要 今こそ知りたい「AIアプリケーション開発」のいろは 最新事例に学ぶ勘所

生成AIはビジネスをどう変革させるのか？

生成AIを活用したAIアプリケーションの最新事例とは？

AIアプリケーション開発に取り組む上で知っておきたい、AIの価値を引き出すための前提条件。

## 基調講演案

### ■登壇講師

### 視聴者の抱える課題

- 生成AIをアプリケーションに組み込むことで得られるビジネスメリットが分からない
- 生成AIの導入コストが高すぎる
- 既存のアプリケーションにどう生成AIを組み込めばよいのか分からない
- 生成AIを活用していこうとしているがデータの確保や整備ができていない
- アプリケーションに生成AIを組み込む知識もノウハウもなく、ハルシネーションなど正確性の問題にどう対処すればいいか分からない

### キーワード

- AIアプリケーション開発
- 生成AI
- AI導入
- AI活用支援
- LLM
- RAG

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

## 概要 先行企業に学ぶ、クラウドネイティブの始め方

システムの安定稼働が求められる中で、先行企業はクラウドネイティブをどう実践しているのか。コンテナ、Kubernetes、マイクロサービスなどのクラウドネイティブ技術を活用する本当のメリット、クラウドネイティブの始め方。

## 基調講演案

### ■登壇講師案

### 視聴者の抱える課題

- クラウドネイティブのことをよく知らない、何を実践すべきかが分からない
- 何をクラウドに移行すべきなのかが分からない
- どのクラウドのどのサービスを選べばいいか分からない
- 何を目的にクラウドネイティブを始めればいいのか分からない
- 開発や運用においてどこまでクラウドネイティブを実践すればいいのか分からない
- クラウドネイティブのゴールが知りたい

### キーワード

- クラウド移行
- クラウド活用
- リフトアンドシフト
- コスト最適化
- ガバナンス
- 内製化
- コンテナ
- Kubernetes向けソリューション
- マイクロサービス
- 統合運用管理
- コンテナ/Kubernetes環境における可観測性
- API公開支援/管理製品
- マルチクラウド管理/監視ソリューション
- 内製化支援ツール/サービス
- 分散クラウド管理製品
- APM製品/サービス

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。



## 概要 限られたリソースで始める「攻めの品質管理」・DevSecOps

スピード、変化対応力に加え、コスト削減を求められる現場が増えている中、限られたリソースでも社会や企業の発展に役立つ「攻めの品質管理」やDevSecOpsのポイントを説く。

### 基調講演案

#### ■登壇講師

### 視聴者の抱える課題

- 今の品質保証体制の改善の仕方が分からない
- 開発、運用、セキュリティを連携させる方法が分からない
- アプリケーションの脆弱性を管理し、対応したい
- テスト自動化、テスト仮想化の実践方法が分からない
- テストコードを書く工数をどう減らせばいいか分からない

### キーワード

- 品質保証
- 品質管理
- テスト管理
- AIによるテスト
- AIによる品質向上
- テスト自動化
- データ仮想化
- ソースコード解析
- CI/CD
- APM (アプリケーションパフォーマンス管理)
- コードレビュー
- プロジェクト管理
- 保守
- バグ管理
- 技術的負債
- ソースコード管理
- コラボレーション開発
- QA (Quality Assurance)

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。



## 概要 正しいローコード

内製化ブームにのり注目を集めているローコード開発。  
非エンジニア職でもさまざまなデジタル化を実現できるのは魅力であり、エンジニア不足の解決策の1つといえる。  
だが、業務部門まかせにしていると、ガバナンス面で大きな問題を起こしかねない。要となるのは、企業の守護神「情シス」だ。  
本セクションでは、情シスと業務部門が連携してローコード開発を進める際のコツや注意点を伝授する。

## 基調講演案

### ■登壇講師

## 視聴者の抱える課題

- ローコード開発を取り入れたいが、不安がある

## キーワード

- DX
- 内製化
- ローコード
- ローコード開発
- 開発の民主化
- デジタルの民主化

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

## 概要 クラウドネイティブを守るセキュリティ

クラウドネイティブな環境で狙われるのはどこなのか？

クラウドネイティブ基盤を守るに当たってポイントは？

ビジネスを継続し、事業に貢献するために知っておきたいクラウドネイティブセキュリティの勘所。

## 基調講演案

### ■登壇講師

## 視聴者の抱える課題

- ビジネスを継続し、事業に貢献するためにクラウド環境で何をどこまで守ればいいのか分からない
- クラウドネイティブな環境におけるセキュリティのポイントが分からない

## キーワード

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• CNAPP</li> <li>• CWPP</li> <li>• コンテナセキュリティ</li> <li>• Kubernetesセキュリティ</li> <li>• マイクロサービスセキュリティ</li> <li>• サーバレスセキュリティ</li> <li>• IaCセキュリティ</li> <li>• セキュリティモニタリング</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• クラウドフォレンジック</li> <li>• 脅威モデリング</li> <li>• ペネトレーションテスト</li> <li>• カオスエンジニアリング</li> <li>• CIEM</li> <li>• シークレット管理／保護</li> <li>• IDaaS</li> <li>• パスワードレス認証</li> </ul> |
|---|---|

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

# タイムテーブル

時間	枠時間	6月4日(水)	時間	枠時間	6月5日(木)	時間	枠時間	6月6日(金)
13:00-13:40	40分	基調講演1-1 (AIアプリケーション開発)	13:00-13:40	40分	基調講演2-1 (品質管理とDevOps)	13:00-13:40	40分	基調講演3-1 (ローコード開発)
13:50-14:20	30分	ご協賛企業決定 スポンサーセッション1-1 (AIアプリケーション開発)	13:50-14:20	30分	スポンサーセッション2-1 (品質管理とDevOps)	13:50-14:20	30分	スポンサーセッション3-1 (ローコード開発)
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション1-2 (AIアプリケーション開発)	14:30-15:00	30分	ご協賛企業決定 スポンサーセッション2-2 (品質管理とDevOps)	14:30-15:00	30分	スポンサーセッション3-2 (ローコード開発)
15:10-15:50	40分	基調講演1-2 (クラウドネイティブの 始め方)	15:10-15:40	30分	スポンサーセッション2-3 (品質管理とDevOps)	15:10-15:50	40分	基調講演3-2 (クラウドネイティブを 守るセキュリティ)
16:00-16:30	30分	スポンサーセッション1-3 (クラウドネイティブの始め方)	15:50-16:30	40分	基調講演2 (品質管理とDevOps)	16:00-16:30	30分	ご協賛企業決定 スポンサーセッション3-3 (クラウドネイティブを 守るセキュリティ)
16:40-17:10	30分	スポンサーセッション1-4 (クラウドネイティブの始め方)	16:30-17:00	30分	スポンサーセッション2-4 (品質管理とDevOps)	16:40-17:10	30分	スポンサーセッション3-4 (クラウドネイティブを 守るセキュリティ)

※スポンサーセッションが2社未満の場合は、タイムテーブル（開催日やセッション順）の調整、集客人数が変更になる場合がございます。  
 ※ご協賛状況に応じて、開催日程を含めたタイムテーブルが変更になる可能性があります。

# デジタルイベント協賛予約システム



ご協賛企業様、代理店様から直接デジタルイベントへのご協賛をお申込みをいただけるようになりました！  
**申込可能な協賛枠や企業様のご協賛状況をリアルタイムで視覚的に確認可能です**  
**ご予約はこちらから▶ [https://techlive-itmedia.resv.jp/direct\\_calendar.php?direct\\_id=17](https://techlive-itmedia.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=17)**

## ご協賛枠の予約受付完了までの流れ ※ 従来通り弊社営業担当経由でのご予約も可能です



## カレンダーの見方



## ① ご利用ガイド

- 協賛を決定いただいたお客様
  - ・ 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。
- 仮押さえ有効期限について
  - ・ ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
  - ・ ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。
  - ・ 4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
  - ・ 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
  - ・ 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- キャンセルに関して
  - ・ キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者がご対応いたします。
  - ・ イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。
- 予約の変更に関して
  - ・ 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。



セッション1・3・5のみ

	プラチナ	ゴールド	全リスト	セッションリスト
スポンサーセッション Live配信+アーカイブ	●	●	-	-
全申込者リスト (800件想定)	●	-	●	-
セクション申込者リスト (350名想定)	●	● (上限450名)	●	● (上限450名)
セッションアンケート	●	●	-	-
視聴者リード	●	●	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	●	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金 (すべて税別・グロス価格)	<b>¥3,800,000-</b>	<b>¥2,800,000-</b>	<b>¥2,700,000-</b>	<b>¥2,000,000-</b>

※申込者数は想定値です。

※セミナー全体のセッションスポンサーが3社未満の場合、開催日程やテーマを縮小します。その場合、申込者数が想定を下回る可能性があります。

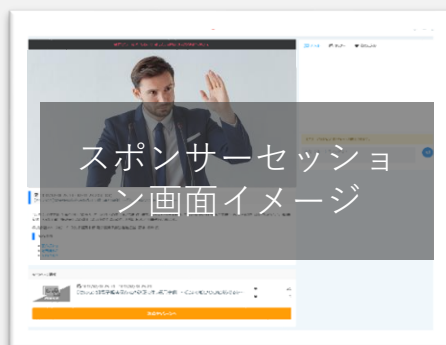
※各セッションのスポンサーが3社未満の場合、そのセッションの申込者数が想定を下回る可能性があります。

※開催規模を縮小した場合、協賛価格や提供物を調整することがあります。ご了承ください。

# ご協賛メニュー詳細

## | スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできる。スポンサーセッション枠をご利用可能。



## | 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：  
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

## | セクション申込者リスト

- 協賛セクション申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：  
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・関与など  
※事前申込時に該当セクションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

## | セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせて自由に設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

## | 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：  
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

## | 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など(BANT情報)等も合わせてご提供。

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

## | スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
- 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

## | 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

## | 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでの提供。

※画像はイメージです。

# オプションメニュー1

## | 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

## | セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000~**

## | リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役にたください。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000~**

## | 納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：[go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn](https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn)

料金 **¥200,000**

## | リードカスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって料金は変動

料金 500件~ **¥100,000~**

## | ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvv>

料金 **¥500,000**

## | アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

## | テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件~
- 期間：3~4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可。

料金 **¥75,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

# オプションメニュー2

## セッション動画活用リード獲得

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv>

料金 **¥300,000~**

## レポート記事配信（ターゲットヘプッシュ型で配信）

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアッププッシュ ターゲティング & ABM 15,000通~

料金 **¥1,000,000~**

## レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多く閲覧しているメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 4,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

## セッションパンフレット作成（IT・ビジネス関連）

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証  
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,200,000**

## CM動画放映スポンサープラン

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>

料金 **¥300,000**

## パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

※価格・割引率をご協賛イベントによって変動いたします。

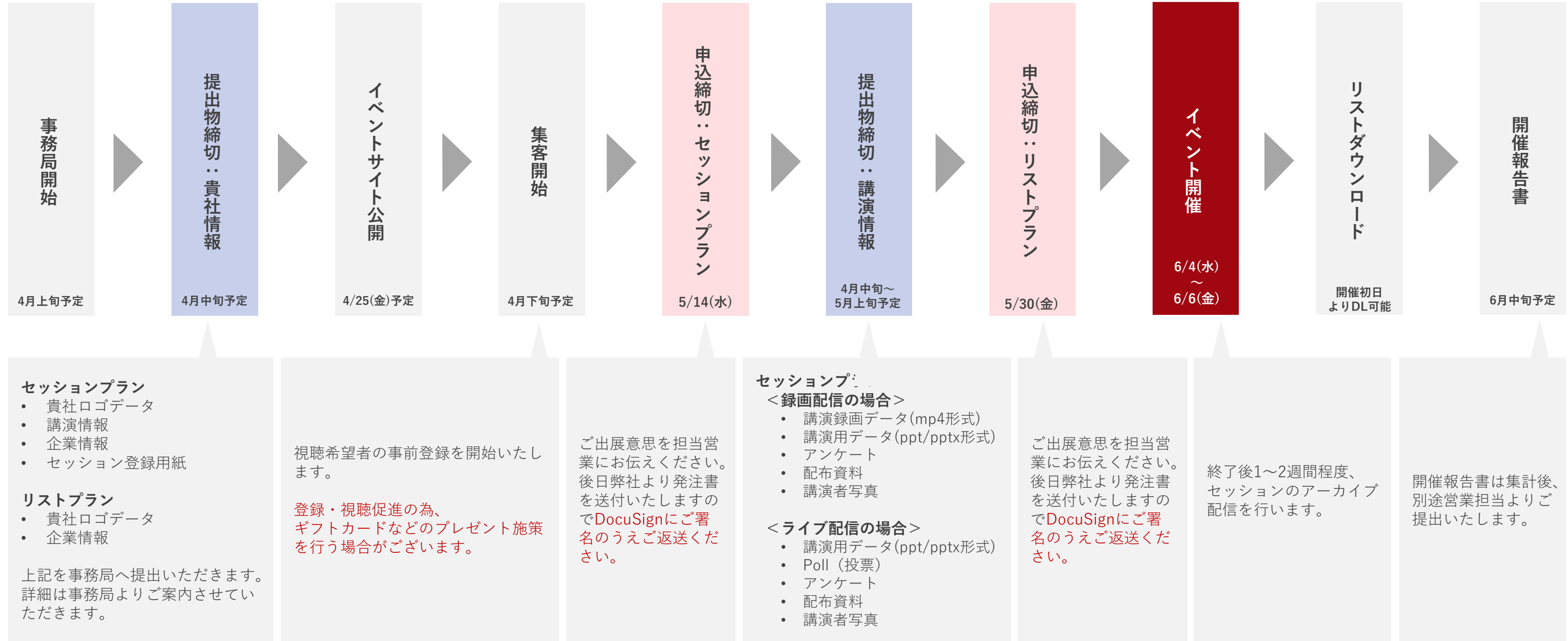
料金 **¥3,000,000**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）



# お申込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡致します。



## | キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル  
登録用紙提出後のキャンセル  
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル      : 契約金額の50%  
開催日40日以内のキャンセル        : 契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

## | 消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

## | 配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

## | オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

### リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに中断（停止）してしまう可能性があります。  
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

### リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。  
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

### リスク3：電源障害

映像・音声ともに中断（停止）してしまう可能性があります。  
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

### リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。  
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

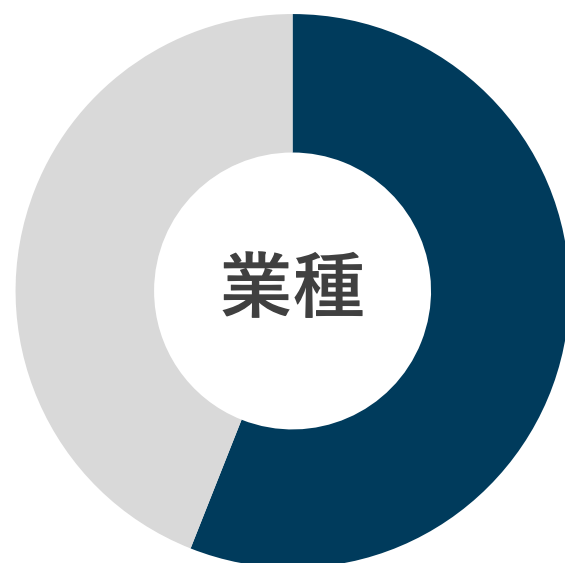
### リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合  
視聴者側の環境に起因する可能性が高いため、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合  
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

## @IT

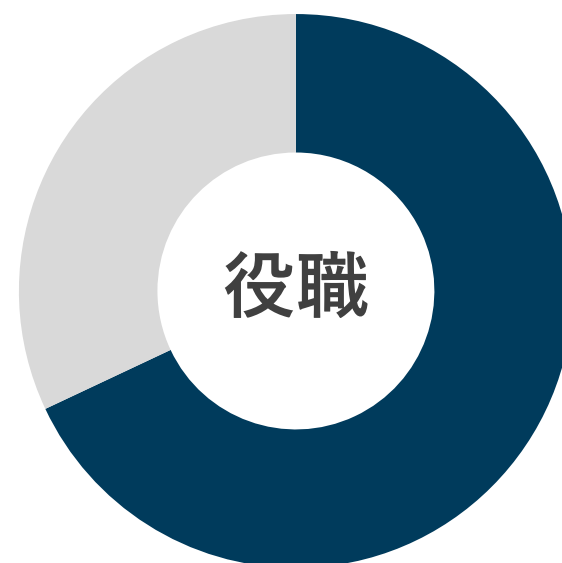
### “ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア

- URL <https://atmarkit.itmedia.co.jp/>
- PV 約770万 PV/月 約390万 UB/月 ※2024年1月実績
- メルマガ配信数 約54万通



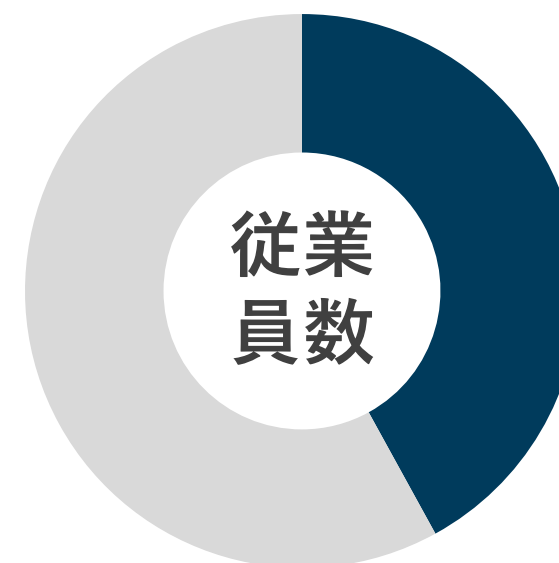
ユーザー企業 約**56%**

主な内訳：IT関連35.5%,製造業29%



係長クラス以上 約**60%**

主な内訳：係長クラス21.2%,部長クラス20.6%



1000人以上 約**41%**

主な内訳：1000人～5000人未満18.4%,  
5000人以上24%

デジタルイベントの最新情報はこちら  
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>



#### お問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部  
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12  
紀尾井町ビル 13階

お問い合わせフォーム：<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>